

○日 時：平成２５年３月２１日（木）１０：００～１２：１０

○場 所：自然科学研究機構／情報・システム研究機構 合同会議室

○出席者：金田機構長、青山、今西、宇野、大塚、小野、カイザー、影山、窪田、酒井、佐藤（宗）、須藤、立本、谷川、中尾、野家、平川、森の各評議員

○陪席者：栗城理事、石上理事、大崎機構長特別顧問、歴博管理部長、国文研管理部長、国語研管理部長、日文研管理部長、地球研管理部長、民博管理部長、本部事務局総務課長、同企画課長、同財務課長、同施設課長、同企画課課長補佐、同財務課課長補佐、同総務課総務係長、同企画課企画評価係長、同総務課総務係員

○概 要：

議事に先立ち、事務局から、定足数を満たしている旨の報告があり、配付資料の確認がなされた。

１．議題

（議事概要）

（１）前回議事概要について（資料１）

機構長から、平成２４年度第２回教育研究評議会議事概要について、議事概要署名人のご確認をいただいた旨報告があり、本評議会の同意を得た。

また、平成２４年度第３回教育研究評議会の議事概要署名人として、谷川評議員及び野家評議員が選出された。

（審議事項）

（１）人間文化研究機構長選考会議委員の選出について（資料２）

機構長から、資料２に基づき、人間文化研究機構長選考会議委員の選出について説明があり、教育研究評議会から選出する委員として、平成２５年３月３１日をもって総合地球環境学研究所長の任期を満了する立本評議員に代わり、平成２５年４月１日から総合地球環境学研究所長及び評議員に就任予定の安成哲三氏が選出された。

（２）中期計画の変更について（資料３）

中尾理事から、資料３に基づき、国文学研究資料館において歴史的典籍の画像情報を活用した新たな学問領域の創出に寄与するため、「日本語の歴史的典籍のデータベースの構築計画」を中期計画中に位置付ける変更を行いたい旨の説明があり、了承された。

（３）平成２５年度「年度計画」について（資料４）

中尾理事から、資料４に基づき、平成２５年度計画の中で特記すべき事項を中心に説明があり、意見聴取が行われ、了承された。また、野家評議員から年度計画中の「機構創立１０周年を記念して、将来性のある若手研究者を顕彰する。」について、若手研究者の年齢に関する質問があり、機構内で協議の上４０歳未満とした旨説明があった。

（４）国文学研究資料館古典籍データベース研究事業センターの設置について（資料５）

総務課長から、資料５に基づき、国文学研究資料館古典籍データベース研究事業センターの設置及びそれに伴う人間文化研究機構組織規程の一部改正について説明があり、了承された。

（５）「人間文化研究機構のあり方―第１次報告―」について（資料６）

中尾理事から、資料６に基づき、人間文化研究機構総合研究推進委員会において、「人間文化研究機構のあり方―第１次報告―」を取りまとめた旨報告があり、検討の経緯、今後における機構の重点課題、各機関及び機構事業の方向性と具体的取り組みを中心に説明があった。今回の報告に基づき、今後の機構のあり方について、本評議会において、具体的検討を進めていくことが了承された。

（報告事項）

（１）平成２４年度補正予算及び平成２５年度政府予算案について（資料７）

中尾理事から、資料７に基づき、平成２４年度補正予算及び平成２５年度政府予算案について説明があった。

（２）平成２５年度人間文化研究機構予算編成方針等について（資料８）

中尾理事から、資料８に基づき、平成２５年度予算編成方針案及び平成２５年度当初予算配分案について、説明があった。

（３）地域研究間連携研究の推進事業について（資料９）

中尾理事から、資料９に基づき、平成２４年度に機構長裁量経費により試行的に実施した地域間連携研究の推進事業の活動と成果を継承し、「イスラーム地域研究」と「現代インド地域研究」の連携と協働により、平成２５～２７年度に地域研究間連携研究の推進事業を行う旨報告があった。

（４）平成２５年度共同研究計画等について（資料１０）

小野理事から、資料１０に基づき、平成２５年度の共同研究計画等について、機構本部が実施する連携研究等を中心に報告があった。

（５）PNC Annual Conference and Joint Meetings 2013 の共同開催の依頼について（資料１１）

石上理事から、資料１１に基づき、PNC Annual Conference and Joint Meetings 2013 を Pacific Neighborhood Consortium (PNC) と共同開催するに至った経緯、人間文化研究機構が参加することの意義等について報告があった。

（６）日本研究功労賞について

機構長から、第２回日本研究功労賞の授賞式が受賞者の都合により中止となり、平成２５年１月にフランスにおいて、賞状等の授与を行った旨報告があった。また、第３回日本研究功労賞の選考に向け、各機関に対し５月末を目処に受賞候補者の推薦依頼を行っている旨報告があった。

（７）人間文化研究奨励賞について（資料１２）

機構長から、資料１２に基づき、平成２５年度に人間文化研究機構創立１０周年を迎えることを記念して、優れた研究を進めている若手研究者を顕彰するため、人間文化研究奨励賞の授与を行う旨報告があった。

（８）改正労働契約法への対応について（資料１３）

総務課長から、資料１３に基づき、改正労働契約法への対応に伴い関係規程の制定及び一部改正を行う旨報告があり、関係規程の概要について説明があった。

（９）給与改定について（資料１４）

総務課長から、資料１４に基づき、給与改定に伴う関係規程の一部改正について報告があり、平成２６年１月１日実施予定の昇給の抑制措置については、今後国会における関係法案の審議状況等を踏まえ進めていく旨、説明があった。

(10) 研究教育職員の人事異動について（資料 15）

総務課長から、資料 15 に基づき、平成 2 4 年度下半期における研究教育職員の人事異動について報告があった。

(その他)

(1) 機関の長の異動等について（資料 16）

総務課長から、資料 16 に基づき、機関の長の異動等について報告があった。

(2) 平成 2 5 年度教育研究評議会開催日程について

機構長から、平成 2 5 年度教育研究評議会について、以下の日程で開催する旨説明があった。

第 1 回 平成 2 5 年 6 月 2 0 日（木） 1 0 : 0 0 ~

第 2 回 平成 2 5 年 1 1 月 2 0 日（水） 1 0 : 0 0 ~

第 3 回 平成 2 6 年 3 月 1 9 日（水） 1 0 : 0 0 ~

最後に機構長から、3 月末をもって退任される評議員が紹介され、立本評議員、青山評議員、宇野評議員から退任の挨拶があった。

以上、この教育研究評議会議事概要を確認し、以下に署名捺印する。

平成 2 5 年 4 月 2 2 日

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

署名人 評議員 _____
谷 川 恵 一

署名人 評議員 _____
野 家 啓 一